

平成26年8月18日 総務部総務課企画管理・文書グループ TEL（内線）3364 TEL（外線）076-225-1231

平成26年度北方領土返還要求運動の実施について

- 1 北方領土返還要求県内市町キャラバン（出発式）
 - （1）日時 平成26年8月20日（水）午前9時～
 - （2）場所 県庁行政庁舎1階エントランスホール
（詳細は別記1のとおり）

- 2 北方領土返還要求街頭署名
 - （1）日時 平成26年8月20日（水）午後0時20分～午後1時30分
 - （2）場所 金沢地区 香林坊大和・アトリオ前
加賀地区 アルプラザ加賀（アビオシティ加賀）店前
（詳細は別記2のとおり）

- 3 北方領土早期返還要求石川県民大会
 - （1）日時 平成26年8月20日（水）午後2時～
 - （2）場所 石川県地場産業振興センター（大ホール）
（詳細は別記3のとおり）

- 4 北方領土問題パネル展
 - （1）日時 平成26年8月20日（水）午後1時～午後4時
 - （2）場所 石川県地場産業振興センター（大ホール前）

1 北方領土返還要求県内市町キャラバン（出発式）

1 趣旨

我が国固有の領土である北方領土の早期返還を目指し、県民の総意を結集すべく、県内市町にキャラバン隊を派遣し、活発で幅広い啓発を図る。

2 主催

北方領土返還要求運動石川県民会議 [会長 吉崎吉規 (石川県議会議員)]

3 後援

内閣府北方対策本部

3 日時

平成26年8月20日(水) 午前9時～

4 場所

県庁行政庁舎1階エントランスホール

5 出発式の概要

(1) 激励のことば

① 北方領土返還要求運動石川県民会議会長 吉崎吉規

② 石川県知事 谷本正憲

(2) メッセージの手渡し

(3) 出発の挨拶(能登コース隊長)

6 キャラバン隊

(1) 加賀コース

隊長 ^{まつもと}松本 ^ことも子 (石川県婦人団体協議会理事)

隊員 6名

訪問先 4市2町

(金沢市、白山市、野々市市、内灘町、かほく市、津幡町)

(2) 能登コース

隊長 ^{かたばた}潟端 ^{よしこ}良子 (石川県婦人団体協議会理事)

隊員 6名

訪問先 2市3町(珠洲市、能登町、穴水町、七尾市、中能登町)

(3) キャラバン隊の構成

本県民会議加盟団体(29団体)のうち8団体の代表にて構成

7 キャラバン隊の主な業務

(1) 北方領土の返還に関する街頭啓発

(2) 県内訪問市町長に対して、北方領土返還に関する県民会議会長からの要請文の手渡し

(3) 訪問市町における北方領土返還署名簿の収集

2 北方領土返還要求街頭署名

1 趣旨

北方領土返還について、県民意識の高揚を図り、早期返還を図る。

2 主催

北方領土返還要求運動石川県民会議 [会長 吉崎吉規 (石川県議会議長)]

3 日時

平成26年8月20日(水) 午後0時20分～1時30分

4 場所(県内2ヶ所で開催)

金沢地区 香林坊大和・アトリオ前

加賀地区 アルプラザ加賀(アビオシティ加賀)店前

5 街頭署名参加者

北方領土返還要求運動石川県民会議加盟団体の職員

金沢地区 16名予定

加賀地区 8名予定

6 その他

北方領土早期返還要求石川県民大会会場でも署名台を設置

3 北方領土早期返還要求石川県民大会

1 趣 旨

北方領土返還要求運動が全国的に高まっている中で、石川県民の強い決意を内外に表明し、運動の一層の盛り上げを図る。

2 主 催

北方領土返還要求運動石川県民会議
独立行政法人 北方領土問題対策協会

3 後 援 内閣府北方対策本部

4 日 時 平成26年8月20日(水) 14時～

5 場 所 石川県地場産業振興センター(大ホール)

6 次 第

(1) 開会のことば

日本労働組合総連合会石川県連合会会長 狩山 久弥

(2) 主催者あいさつ

北方領土返還要求運動石川県民会議会長 吉崎 吉規(石川県議会議長)

(3) 来賓挨拶

石川県知事(代理 石川県副知事 中西 吉明)

石川県市長会会長(代理 石川県市長会副会長 油野 和一郎(かほく市長))

(4) メッセージ(内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)・北方対策本部長)の読み上げ

公益社団法人日本青年会議所北陸信越地区石川ブロック協議会 清水 真一路

(5) 祝電披露

(6) 経過報告

北方領土返還要求運動石川県民会議事務局長 吉田 憲光

(7) 大会宣言

石川県青年団協議会会長 宮 義一

(8) 記念講演

演題 「元島民の返還への運動」

講師 歯舞群島志発島元島民 清田 進

(9) キャラバン隊の報告

加賀コース隊長 松本 とも子(石川県婦人団体協議会理事)

(10) 閉会のことば

石川県婦人団体協議会会長 藤多 典子

北方領土早期返還要求石川県民大会等の概要

1 開催経緯

昭和56年12月に北方領土返還要求運動石川県民会議が発足し、昭和57年8月に第1回の大会を開催して以来、毎年開催し、今年が33回目（街頭署名も同様）である。

2 8月開催の理由

昭和20年8月に旧ソ連が北方四島を占拠したことにちなみ、8月が北方領土返還運動全国強調月間として指定されていることから、例年、8月の下旬ないし9月上旬に開催しているところである。

（なお、1885年（安政元年）2月7日にロシアとの間で、両国の国境を択捉島とウルップ島の間で定めた「日露通好条約」が締結されたことにちなみ、毎年2月7日を「北方領土の日」とし、2月も北方領土返還要求運動全国強調月間に指定されている。）

北方領土返還要求運動石川県民会議の概要

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 設 立 | 昭和56年12月19日 |
| 2 | 構成団体 | *1のとおり |
| 3 | 会 長 | 県議会議長が就任する。 |
| 4 | 事務局 長 | 吉田 憲光(独立行政法人北方領土問題対策協会の石川県推進委員
：平成12年4月1日から) |
| 5 | 設立趣意書 | *2のとおり |
| 6 | そ の 他 | 北方領土問題対策協会の指導のもと、全国で県民会議の設置が進め
られ、現在、全都道府県で設立され活動を行っている。 |

*1 (構成団体)

- | | |
|-----|--|
| 顧 問 | 石川県、石川県市長会、石川県町長会 |
| 会 長 | 石川県議会 |
| 副会長 | 石川県青年団協議会、石川県婦人団体協議会、日本労働組合総連合会
石川県連合会 |
| 理 事 | 石川県商工会議所連合会、石川県商工会連合会、石川県農業協同組合
中央会、石川県森林組合連合会、石川県漁業協同組合、公益社団法人日
本青年会議所北陸信越地区石川ブロック協議会、石川県市議会議長会、
石川県町村議会議長会、一般社団法人石川県経営者協会、石川県中小企
業団体中央会、一般社団法人金沢経済同友会、公益財団法人石川県消防協
会、一般社団法人石川県郷友会、公益財団法人石川県老人クラブ連合会、
一般財団法人石川県遺族連合会、石川県高等学校長協会、石川県小中学
校長会、石川県PTA連合会、石川県高等学校PTA連合会、石川県公民
館連合会、公益社団法人石川県隊友会、石川県少年団体協議会
以上29団体 |

※H19から石川県小学校長会と石川県中学校長会が合併し29団体に

*2 (北方領土返還要求運動石川県民会議設立趣意書)

国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島のいわゆる北方領土は、1855年(安政元年)2月7日に結ばれた下田条約に明記されているとおり、我が国固有の領土であり、その返還は日本国民の悲願として、また、日ソ両国の恒久平和のためにも早期復帰が強く望まれてきたところであります。

このため、政府においては、毎年2月7日を「北方領土の日」と決めるなどこの問題に対する認識と世論の喚起高揚を図り、もって全国民の総意を結集し今後の日ソ外交交渉に強く反映させようと、全国規模での北方領土返還要求運動を展開しております。

つきましては、本県においても今日まで熱心な啓発活動等が行われてきたところがありますが、今後この運動を更に拡大し、より効果的に推進するため、「北方領土返還要求運動石川県民会議」を設立することとしたものです。